

日本活断層学会 2015 年度秋季学術大会において研究発表を行い、若手優秀講演賞を受賞しました(2015/11/27-28)

テーマ：活断層，地震，2014 年長野県北部の地震
場 所：岡山大学創立五十周年記念館（岡山県岡山市）

2015 年 11 月 27 日（金）～28 日（土）岡山大学創立五十周年記念館において，日本活断層学会 2015 年度秋季学術大会が開催されました。一般研究発表に加え，シンポジウム「長大活断層の強震動評価の高度化に向けて」が開かれました。一般研究発表では，災害理学研究部門 国際巨大災害研究分野の遠田晋次教授と石村大輔助教により，現在進行中の糸魚川―静岡構造線断層帯神城断層調査の速報が報告され，活発な議論および情報交換を行うことができました。シンポジウムでは，長大活断層の強震動評価に関する講演が様々な分野の方から行われ，多様な観点から長大活断層評価に関する研究が紹介されました。

また，研究発表における石村助教ほかの「2014 年 11 月 22 日長野県北部の地震の地表地震断層と地震前後の LiDAR データに基づく地震時変位量」が若手優秀講演賞を受賞しました。



表彰を受ける石村助教

文責：石村大輔（災害理学研究部門）